

実践的ハッカソン企画運営業務委託 質問書に対する回答

	質問事項	回答
1	アクセラレータープログラムの参加予定者について 仕様書「4.前提条件」>「(5)備考」に記載のアクセラレータープログラムについて、現時点での参加予定者のチーム構成を教えてくださいませんか。 特に、各チームにエンジニアが含まれているかどうかの詳細が分かれば幸いです。	アクセラレータープログラムは、令和8年9月下旬から12月下旬までの開催を予定しております。 令和8年9月9日現在、3組が参加を予定しており、いずれも1名での参加予定です。このうち、1組についてはエンジニア経験を有する方が参加を予定しております。 なお、現時点での参加予定者に関する情報であり、今後変更となる可能性があります。
2	エンジニアの募集およびチーム化の業務範囲について 仕様書の理解の確認となります。本業務には「アイデアや熱意はあるが技術がない起業家等」と「技術はあるがアイデアがないエンジニア」をチーム化することが含まれていると認識しております。 参加申し込み時点でエンジニアがいないチームがあった場合、受託者側でエンジニアを募集し、チーム化を行うことも本業務の範囲に含まれるという理解でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。 本業務では、仕様書の業務目的に記載のとおり、起業家等とエンジニアが出会い、想いと技術を交差させることで、新たな事業の創出につなげることを目的としております。そのため、受託者において起業家等及びエンジニアの募集を行い、必要に応じてプログラム内でチーム化を行うことも本業務の範囲に含まれます。 なお、起業家等があらかじめエンジニアとチームを組んだ上で参加することも可能です。また、チーム化の方法については、参加者の状況等に応じて柔軟に対応するものとし、例えば、既にチームを組んで参加する場合であっても、参加者の希望に応じて、別途応募したエンジニアが新たに当該チームへ加わることも可能です。 ただし、チーム化に当たっては、参加者それぞれの意向を踏まえ、双方の合意の上で行うものとしします。
3	最小の目標値・KPIについて 参加組数は「最大5組」との記載がありますが、「最低〇組」といった最小の目標値やKPIなどは設定されていますでしょうか。	参加組数については、仕様書に記載の「最大5組」を上限とし、最低組数に係る数値目標やKPIは設定しておりません。ただし、事業の趣旨及び実施内容を踏まえ、プログラムの実施に必要な参加者の確保に努めるものとしします。 参加者の募集については、受託者において必要な募集活動を行うものとししますが、特定の参加人数の確保を求めるものではありません。また、発注者においても、関係者への周知や参加希望者に関する情報提供等、参加者の確保に向けて必要な協力を行うものとしします。 なお、参加状況等により、当初予定した内容での実施が困難となる場合には、発注者と受託者で協議の上、実施方法等を決定するものとしします。
4	追加募集および事前プログラムの設計について 仮にアクセラレータープログラムからの参加が4組だった場合、残り1組の「アイデア・熱意のある起業家チーム」についても、受託者側で公募等を行い集めるという理解でよろしいでしょうか。 また、その理解が正しい場合、ハッカソン当日より前にチームビルディングや開発内容(MVP)を検討・把握するための「事前プログラム」の設計・実施も、受託者の業務範囲に含まれるという認識でよろしいでしょうか。	アクセラレータープログラムから4組が本業務に参加する場合であっても、残り1組については、受託者において公募等により参加者を募集する必要があります。 参考として、過去のアクセラレータープログラムからハッカソンへの参加実績は、以下のとおりです。 ・令和6年度:アクセラレータープログラム参加4組のうち、1組がハッカソンに参加 ・令和7年度:アクセラレータープログラム参加4組のうち、1組がハッカソンに参加 一方、ハッカソン当日より前に、チームビルディングや開発内容(MVP)の検討・把握を目的とした事前プログラムを実施することは、必須としておりません。 本業務では、仕様書に定める合計2日半のプログラム(2日間の開発ワークショップ及び開発作業並びに半日程度の成果発表会)を実施することとしておりますが、具体的なプログラムの企画・構成については、受託者の提案によるものとしします。そのため、チームビルディングや開発内容の検討等をプログラム内に含めることや、円滑な運営に向けて事前ヒアリング等を行うことについても、受託者の提案に委ねるものとしします。